

マツダ自動車派遣切り裁判に支援を

しまね労連は、6月2日～3日「マツダ訴訟」原告の佐藤次徳さんとマツダ共闘会議の藤永佳久会長を山口から迎え、松江から大田地区労連まで支援の要請行動をとりくみました。

約4年を費やした「マツダ訴訟」は、昨年3月13日に山口地裁で「不法な派遣労働を正し、正社員として採用せよ」との勝利判決を下しました。これは、争議団の不屈のたたかいと、皆さんから寄せられた署名など、大きな支援がつくった判決でした。マツダ自動車は、判決に従い大企業の社会的責任を、果たさなければなりません。

ところがマツダ自動車は、過ちを認めず広島高裁に控訴しました。そして不十分な審議状態のまま9月17日には結審が予定されています。

私たちは、それまでに公正判決を求める世論を、署名などの形にしてどれだけ多く提出をするかが勝利の力になると確信します。「マツダ訴訟」の判決は、全国で争われている非正規切り・派遣切り裁判に元気をあたえるだけでなく、安倍政権下で推しすすめられている「派遣法改悪」に歯止めをかける重要な意義をもっています。

署名は、9月10日を最終集約に、みんなの力で成功させましょう。

キャラバンは、6月2日しまね労連をスタートし、島根県教組、自治労連、生健会松江、全日赤松江、わかたけ保育園、出雲地域労連、出雲市民病院労組、大田地区労連、年金社組合石東支部をまわりました。

3日には、松江保健生協労組、島根民医連、全医労松江、島根県医労連、長命園労組、新婦人、こばと保育園、虹の子保育園、日本共産党島根県委員会、東部地区委員会にお願いしました。



6月2日しまね労連で説明する藤永会長

どの組織でも争議団を温かく迎え入れてもらえました。団体募金やたくさんの共感・支援・激励をいただきました。

争議団から御礼と感謝の連絡を受け取りました。しまね労連からも心より御礼申し上げます。

たたかいはこれからが本番です。

勝利をめざし、しまね労連の総力を上げて署名運動に取り組みましょう。



6月3日佐藤さんの訴えを聞くこばと保育園の仲間たち